

**板橋 高等学校 令和6年度（1学年用）**

**教科 外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ**

教科： 教科 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当者： (1～4組：笠井) (5～7組：土田)  
 使用教科書： ( MY WAY English Communication Ⅰ )  
 教科 教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につける。また、学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

場面、目的、状況に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合う。また、聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。また、言語やその背景にある文化に対する関心を持って自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることが出来る力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 先 ）	書						
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 現在形・過去形、進行形、SVO。またそれらをもとにことわざについて、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界のことわざについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ことわざについて話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の特徴的なことわざについて理解を深め、自分の好きなことわざについて話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ						単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出					10
	定期考査												1
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 助動詞、受け身、助動詞のついた受け身。またそれらをもとに写真家・岩合光昭さんの生き方や考え方について、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 写真家・岩合光昭さんの生き方や考え方について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きな動物について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 人間は動物から学ぶべきだという考えについて理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ						単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出					12
	定期考査												1
C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 動名詞、to不定詞の名詞的、形容詞的、副詞的用法。またそれらをもとに高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、宇宙で食べてみたい日本の食べ物について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙食の特徴と高校生の創意工夫について理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ						単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出					12	
定期考査												1	
D 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形。またそれらをもとに『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、話し手・書き手の意図を捉えたり、話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、留学生に紹介したい日本の物語について話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 友情についての普遍的なメッセージについて理解を深め、その意見に対して自分の考えを話したり書いたりして伝えようとする。	・教材 授業用ワークシート 単語テスト 教科書 Workbook ・一人1台端末の活用 辞書アプリ						単語学習ワークシート 内容に関するワークシート ○リスニング問題 ○ライティング活動 ○スピーキング活動（やり取り・発表） ○リーディング 文法学習についてノートにまとめ提出 Workbookの問題を解き提出					10	







教科・科目	英語コミュニケーションⅡ						単位数	4 単位	
							対象学年	2 学年	
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	岡城	高橋	高橋	加藤	岡城	岡城	高橋	加藤	
教科書	My Way								
補助教材	My Way Workbook, Hyper listening								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	言語の知識を深め、それをコミュニケーションにおいて適切に活用できる能力を身に付ける。			場面に応じて様々な話題について、外国語で相手の意図を理解したり、表現したり伝え合ったりできる力を養う。			背景文化への理解を深め、相手に配慮しながら外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
科目の目標	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。			コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり表現したり伝え合ったりする力を養う。			英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1 学期	L1 Dances Around the World	知	SVO, SV00	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワークブック</li> <li>ワークシート</li> <li>リスニング教材</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	知	文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	8	
		思	世界の様々なダンスとその起源や役割を理解する。		思	本文の内容の理解と表現			
		学	ダンスについて自分の意見を言ったり、書いたりする。		態	主体的にコミュニケーションをとる			
	L2 Katsura Sunshine	知	形式主語、目的語のit	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワークブック</li> <li>ワークシート</li> <li>リスニング教材</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	知	文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	8	
		思	英語落語への取り組みや工夫について理解する。		思	本文の内容の理解と表現			
学		日本文化について話したり、書いたりする。	態		主体的にコミュニケーションをとる				
中間考査						〇〇	1		
L3 Living with Nature	知	現在完了、過去完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワークブック</li> <li>ワークシート</li> <li>リスニング教材</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	知	文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	15		
	思	滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動を理解する。		思	本文の内容の理解と表現				
	学	絶滅の危機にある動植物について話したり、書いたりする。		態	主体的にコミュニケーションをとる				
L4 Sesame Street	知	SVOC、知覚動詞、使役動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワークブック</li> <li>ワークシート</li> <li>リスニング教材</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	知	文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	16		
	思	セサミストリートに込められたメッセージを理解する。		思	本文の内容の理解と表現				
	学	セサミストリートのキャラクターについて話したり、書いたりする。		態	主体的にコミュニケーションをとる				

	期末考査				〇〇	1
2 学期	L5 From Landmines to Herbs	知 関係代名詞、関係代名詞・関係副詞の非制限的用法	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	12
		思 篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 参加したいボランティアについて話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L6 Murals	知 助動詞、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	12
		思 世界中の壁画プロジェクトについて理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
学 校舎の外壁に描きたい絵について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる				
中間考査				〇〇	1	
2 学期	L7 "Englishes" in the World	知 分詞構文、受け身・完了形の分詞構文、付帯状況with	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	15
		思 世界のさまざまな英語について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 英語の学習方法について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L8 Deepika Kurup	知 仮定法過去・過去完了、ifを使わない仮定法	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	15
		思 世界の水問題とその解決のための取り組みについて理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
学 特別授業に招きたい科学者や社会起業家について話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる				
期末考査				〇〇	1	
3 学期	L9 The World's Poorest President	知 同格のthat、強調構文、倒置、省略	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	17
		思 ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
		学 幸せを感じるタイミングについて話したり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる		
	L10 Living in an E-Society	知 議論でよく使う表現を理解する。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・一人1台端末の活用	知 文法、語彙、表現の理解と活用	〇〇〇	17
		思 eスポーツや電子書籍の長所と短所を理解する。		思 本文の内容の理解と表現		
学 トピックについて賛成、反対の意見を述べたり、書いたりする。		態 主体的にコミュニケーションをとる				
期末考査				〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	外国語 ・ 論理・表現Ⅱ						単位数	2 単位	
							対象学年	2 学年	
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	高橋	桑名	加藤	桑名	加藤	加藤	加藤	高橋	
教科書	MY WAY Logic and Expression II								
補助教材	MY WAY Logic and Expression II WORKBOOK ・ LEAP Basic ・ LEAP Basic 活用ノート 2								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	外国語の表現等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。			外国語で情報や考え、意図を的確に理解し、これらを活用して適切に表現することができる力を養う。			外国語の背景にある文化を理解し、他者へ配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
科目の目標	目標文法を理解するとともに、使用される語彙や語句を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。			英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現する力を養う。			ペアやグループでのやり取りを通して、情報を得たり考えを伝え合う中で、多様な考えを受け入れ、相手に配慮しながら、受信と発信をして互いを高める姿勢を身に付ける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	Lesson 1 I Love My Country!	知: 目標文法について理解する		現在完了形・過去完了形 未来を表す表現		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする		自分の経験を語る		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
		学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む		好きな物や場所について表現する		態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる			
	Lesson 2 The New Wave of Sports	知: 目標文法について理解する		助動詞の表現 助動詞 + have + 過去分詞		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6
		思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする		be動詞 + to不定詞		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る			
学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む		週末の予定について語る 新しいスポーツの紹介		態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる					
中間考査							〇〇	1	
Lesson 3 The Future of Technology	知: 目標文法について理解する		受動態 不定詞		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6	
	思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする		印象深い授業を語る		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る				
	学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む		贈り物について説明する		態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる				
Lesson 4 Rediscover Kabuki	知: 目標文法について理解する		不定詞 知覚動詞・使役動詞		知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる		〇〇〇	6	
	思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする		日本の文化を紹介する		思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る				
	学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む				態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる				

	期末考査				〇〇	1
2学期	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	動名詞 分詞構文 科学技術を紹介する 社会の状況と職業を語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	6
	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	比較 大きさなどを身近なものに例える 有名な場所を紹介する	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	6
	中間考査				〇〇	1
	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	関係代名詞・関係副詞 火星について会話する	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	6
	Lesson 8 Language and Society	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	仮定法 多種多様な言語について語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	7
	期末考査				〇〇	1
3学期	Lesson 9 Send Our Love to the World	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	否定の表現 代名詞を使った表現 SDG s について語る	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	8
	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	知: 目標文法について理解する 思: 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 学: ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	無生物主語構文 thatを使った表現 関心のある人物を紹介する	知: 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 思: 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 態: ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることができる	〇〇〇	8
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度



2 学期	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付ける。 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 学 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ハロウィーンについての文章を読む。関連する話題について書く。 言語材料: ディスコース マーカー①「追加」	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付けてい 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 態 外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	〇〇〇	15
	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付ける。 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 学 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	3Dプリント技術についての文章を読む。関連する話題について書く。 言語材料: 事実と意見	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付けてい 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 態 外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	〇〇〇	15
	中間考査				〇〇	1
	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付ける。 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 学 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	奴隷解放運動家についての文章を読む。関連する話題について書く。 言語材料: ディスコース マーカー②「時間順序」	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付けてい 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 態 外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	〇〇〇	16
	Lesson 9 English, Always Growing	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付ける。 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 学 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	英語の新語についての文章を読む。関連する話題について書く。 言語材料: ディスコース マーカー③「列举」	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付けてい 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 態 外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	〇〇〇	16
	期末考査				〇〇	1
3 学期	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付ける。 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 学 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	イヌの習性についての文章を読む。関連する話題について書く。 言語材料: ディスコース マーカー④「追加」	知 語彙や文法を理解し、コミュニケーションに活用できる技能を身に付けてい 思 概要や要点、話し手や聞き手の意図などを理解したり表現したり伝えあった 態 外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	〇〇〇	16
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
				〇〇		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	外国語・論理・表現III					単位数	2単位		
						対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	岡城	久末	久末	久末	栗原	岡城	久末		
教科書	MY WAY Logic and Expression III								
補助教材	MY WAY Logic and Expression III WORKBOOK								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	目標の言語材料について、表現の意味や働きを理解し、適切に使うことが出来る。			目標の題材について、情報や自分の考え、気持ちを伝えあったり、書くことが出来る。		情報や自分の考え、気持ちを伝えあおうとしたり、書こうとしたりしている。			
科目の目標	基本的な文法事項を確認し、さまざまな表現を習得して、正しい英語を書けるようにする。			自分が相手に伝えたい内容を考えて、学習した表現を用いながら文を正しく組み立てることができる。		これまでに学習したさまざまな表現を活用し、いろいろな状況で的確に伝えられるようにしている。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1学期	Lesson 1 Survey Results	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		動詞の種類について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		〇〇〇	7	
		思 文を正しく組み立てることができる。			思 文を正しく組み立てることができる。				
		学 学習内容を積極的に用いようとしている。			態 学習内容を積極的に用いようとしている。				
	Lesson2 Writing an Email	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		時制について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		〇〇〇	7	
		思 文を正しく組み立てることができる。			思 文を正しく組み立てることができる。				
		学 学習内容を積極的に用いようとしている。			態 学習内容を積極的に用いようとしている。				
	中間考査				L1,2の理解度を確認する。		〇〇	1	
Lesson 3 Writing a Blog	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		助動詞について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		〇〇〇	8		
	思 文を正しく組み立てることができる。			思 文を正しく組み立てることができる。					
	学 学習内容を積極的に用いようとしている。			態 学習内容を積極的に用いようとしている。					
Lesson 4 Describing Activities	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		不定詞・動名詞について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。		〇〇〇	8		
	思 文を正しく組み立てることができる。			思 文を正しく組み立てることができる。					
	学 学習内容を積極的に用いようとしている。			態 学習内容を積極的に用いようとしている。					
期末考査				L3.4また一学期の範囲の理解度を確認する		〇〇	1		

2 学期	Lesson 5 Suggesting What to Buy	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	分詞・分詞構文について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	〇〇〇	8
		思 文を正しく組み立てることができる。		思 文を正しく組み立てることができる。		
		学 学習内容を積極的に用いようとしている。		態 学習内容を積極的に用いようとしている。		
	Lesson 6 Making a Proposal	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	比較について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	〇〇〇	8
		思 文を正しく組み立てることができる。		思 文を正しく組み立てることができる。		
		学 学習内容を積極的に用いようとしている。		態 学習内容を積極的に用いようとしている。		
	中間考査			L5.6の理解度を確認する。	〇〇	1
Lesson 7 Making a Speech	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	関係詞について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	〇〇〇	10	
	思 文を正しく組み立てることができる。		思 文を正しく組み立てることができる。			
	学 学習内容を積極的に用いようとしている。		態 学習内容を積極的に用いようとしている。			
Lesson 8 Writing an invitation	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	仮定法について学ぶ。	知 表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。	〇〇〇	10	
	思 文を正しく組み立てることができる。		思 文を正しく組み立てることができる。			
	学 学習内容を積極的に用いようとしている。		態 学習内容を積極的に用いようとしている。			
期末考査			L7.8また二学期の範囲の理解度を確認する	〇〇	1	
3 学期		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	外国語・英語演習					単位数	2単位		
						対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	久末	栗原	栗原						
教科書									
補助教材	SEWITCH3, Active Practical Reading完成編, 英文法・語法Engage								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	長文読解、文法、語法、語彙、要約文の問題に主体的に取り組み、要約力、速読力を養成する。			英語長文を読み、情報や考えなどを的確に読み取り理解したり、問題に沿った解答を内容についてたずねる問題に取り組み、問題対応力を磨く。。		様々な分野をテーマにした英文を読解することで、その背景にある文化・歴史・生活・自然・科学・環境・経済などへの理解を自主的に深める。			
科目の目標	入試英語の標準的な長文読解力を養成するため、入試傾向をふまえたテーマの中から長文を読ませる。			論旨を見失わないように1つ1つの文を正しく理解し、全体の概要や要点を把握する。問題を正しく読み取り、的確な表現で解答する力をつける。		予習・復習の推奨と時間ごとのテストにより学習へ向かう意欲、継続力を養う。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1学期	SWITCH Unit 1	知	文法・語法の学習、長文の読み方	OpinionとFactを見分ける	知	筆記テスト	〇〇〇	3	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 2	知	文法・語法の学習、長文の読み方	段落の働きとファーストセンテンスの読み取り	知	筆記テスト	〇〇〇	4	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 3	知	文法・語法の学習、長文の読み方	代名詞や指示語の読み取り方	知	筆記テスト	〇〇〇	3	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 4	知	文法・語法の学習、長文の読み方	英問特有の表現を学ぶ。 パラグラフリーディング	知	筆記テスト	〇〇〇	4	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 5	知	文法・語法の学習、長文の読み方	文章の流れの把握	知	筆記テスト	〇〇〇	3	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 6	知	文法・語法の学習、長文の読み方	文章の論理展開の把握と要約	知	筆記テスト	〇〇〇	3	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	SWITCH Unit 7	知	文法・語法の学習、長文の読み方	否定語を用いない否定表現	知	筆記テスト	〇〇〇	4	
		思	長文内容、問題の読み取り		思	内容を問う問題への解答			
		学	自主的に調べ、復習する		態	チェックノートの完成			
	期末考査						〇〇	1	

2 学期	SWITCH Unit 8	知 文法・語法の学習、長文の読み方	無生物主語構文	知 筆記テスト	〇〇〇	3
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
	SWITCH Unit 9	知 文法・語法の学習、長文の読み方	助動詞wouldの用法	知 筆記テスト	〇〇〇	4
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
	SWITCH Unit 10	知 文法・語法の学習、長文の読み方	付帯状況を表すwith+名詞+分詞	知 筆記テスト	〇〇〇	3
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
	SWITCH Unit 11	知 文法・語法の学習、長文の読み方	時系列展開型の文の読解	知 筆記テスト	〇〇〇	4
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
SWITCH Unit 12	知 文法・語法の学習、長文の読み方	譲歩のディスコースマーカー	知 筆記テスト	〇〇〇	3	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
SWITCH Unit 13	知 文法・語法の学習、長文の読み方	図表を読み解く	知 筆記テスト	〇〇〇	4	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
SWITCH Unit 14	知 文法・語法の学習、長文の読み方	エッセイを読む	知 筆記テスト	〇〇〇	3	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
SWITCH Unit 15	知 文法・語法の学習、長文の読み方	動名詞の意味上の主語	知 筆記テスト	〇〇〇	4	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
Active Practical Reading Lesson 7, 8	知 文法・語法の学習、長文の読み方	メールの読み取り、説明文の概要の把握	知 筆記テスト	〇〇〇	3	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
Active Practical Reading Lesson 9, 10	知 文法・語法の学習、長文の読み方	説明文からの情報の探し読み 物語の内容の把握	知 筆記テスト	〇〇〇	3	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
Active Practical Reading Lesson 11, 12	知 文法・語法の学習、長文の読み方	説明文、資料から情報を読み取ったり論理の展開を把握する	知 筆記テスト	〇〇〇	2	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
Active Practical Reading Lesson 13, 14	知 文法・語法の学習、長文の読み方	物語、記事を読む 論理展開の把握と要約	知 筆記テスト	〇〇〇	2	
	思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答			
	学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成			
	期末考査			〇〇	1	

3 学期	Active Practical Reading Lesson 15, 16	知 文法・語法の学習、長文の読み方	新聞記事、説明文を読む。情報の整理	知 筆記テスト	〇〇〇	2
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
	Active Practical Reading Lesson 17, 18	知 文法・語法の学習、長文の読み方	レポート、雑誌記事から必要な情報を探す。書き手の意図を把握する。	知 筆記テスト	〇〇〇	2
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		
	Active Practical Reading Lesson 19, 20	知 文法・語法の学習、長文の読み方	記事を読んで情報を整理する。論理展開を把握し、要約する。	知 筆記テスト	〇〇〇	2
		思 長文内容、問題の読み取り		思 内容を問う問題への解答		
		学 自主的に調べ、復習する		態 チェックノートの完成		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	外国語・教養英語					単位数	2単位		
						対象学年	3学年		
担当者	C選択								
	新村								
教科書									
補助教材		Speak Up Now / Cross Bridge							
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	言語の知識を深め、それをコミュニケーションにおいて適切に活用できる機能を身に付ける。			場面に応じて様々な話題について、外国語で相手の意図を理解したり、表現したり伝え合ったりできる力を養う。		背景文化への理解を深め、相手に配慮しながら外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
科目の目標	言語の知識を深め、適切に会話する。 言語の知識を深め、英文を読む。			場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする。		背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準			知 思 態	配当時数
1 学期	Cross Bridge Unit 1	知 辞書を活用しながら、英文を読む。		資源・環境	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。			〇〇〇	8
		思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする			思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする				
		学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい				
	Cross Bridge Unit 2	知 辞書を活用しながら、英文を読む。		共生	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。			〇〇〇	8
		思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする			思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする				
		学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい				
	Speak Up Now Lesson 1	知 言語の知識を深め、適切に会話する。		自己紹介する	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。			〇〇〇	2
思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。		思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る							
学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。		学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい							
Speak Up Now Lesson 2	知 言語の知識を深め、適切に会話する。		物を描写する	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。			〇〇〇	2	
	思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。			思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る					
	学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい					
Speak Up Now Lesson 3	知 言語の知識を深め、適切に会話する。		好き嫌いについて話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。			〇〇〇	2	
	思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。			思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る					
	学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい					
Speak Up Now Lesson 4	知 言語の知識を深め、適切に会話する。		連絡に関するやりとりをする	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。			〇〇〇	2	
	思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。			思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る					
	学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。			学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい					
		知 言語の知識を深め、適切に会話する。			知 言語の知識を深め、適切に会話できる。				

	Speak Up Now Lesson 5	思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	今していることについて話す	思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	期末考査				〇〇	
2学期	Cross Bridge Unit 3	知 辞書を活用しながら、英文を読む。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	飢餓・食糧問題	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	6
	Cross Bridge Unit 4	知 辞書を活用しながら、英文を読む。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	医療・福祉	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	6
	Cross Bridge Unit 5	知 辞書を活用しながら、英文を読む。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	教育	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	6
	Speak Up Now Lesson 6	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	2つ以上のものを比べて話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 7	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	出来ることを伝える	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 8	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	手伝ってほしいことを伝える	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 9	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	すべきことについて話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 10	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	予定や意向について話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 11	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	完了したことについて話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2

	Speak Up Now Lesson 12	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	経験したことについて話す	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	期末考査				〇〇	
3学期	Cross Bridge Unit 6	知 辞書を活用しながら、英文を読む。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	衛生環境	知 辞書を活用しながら、英文を読むことが出来る。 思 読んだ英文に関連する話題について、賛否等の意見を話したり書いたりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	6
	Speak Up Now Lesson 13	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	「～される」という表現をする	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 14	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	「もし～なら…だ」という話をする	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2
	Speak Up Now Lesson 15	知 言語の知識を深め、適切に会話する。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりする。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとする。	人やものについて関係詞節を使って説明する	知 言語の知識を深め、適切に会話できる。 思 場面に応じて様々な話題について、表現したり伝えあったりすることが出来る。 学 背景文化への理解を深め、外国語でコミュニケーションを図ろうとしてい	〇〇〇	2

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度